



坂小っ子だより（第55号）

五ヶ瀬町立坂本小学校 H27年度7号

平成27年 7月7日(火)

西臼杵郡五ヶ瀬町大字三ヶ所3446番地

TEL 82-0588 FAX 82-0589 (文責 山下)

「インタビューをとおして、世界を広げる」

校長 山下 多門

①「校長先生は、学校の先生になって何年になりますか。」

『ううんと、34年目ですね。』



②「校長先生は何校の学校にお勤めしていますか。」

指折り数えながら、「小林小学校（小林市）→三種小学校（旧北方町）→広瀬小学校（旧佐土原町）→本庄小学校（国富町）→八戸小学校（日之影町）→村所小学校（西米良村）→妻北小学校（西都市）→そして坂本小学校（五ヶ瀬町）だから、全部で8校ですね。」と答えました。「へえ、すごくたくさんの学校に行っているのですね。」

これは先日の参観日に、3年生が国語の学習で保護者や先生にインタビューを行った時の私とのやりとりです。さらに質問は続きます。



③「どうして、先生になろうと思ったのですか。」

「そうね。教育実習という先生になるための勉強をしに、ある小学校に行きました。そこで3週間1年生と一緒に勉強をしました。授業が上手にできずに失敗ばかりでした。しかし、そんな先生を1年生の子どもたちが毎日、朝早くから靴箱の所で待ってくれていました。『多門先生、今日も一緒に勉強したり、遊んだりしましょうね。』といつもにこにこ笑顔がそこにあったのです。」

「自分のことを待ってくれている子どもたちがいることがとってもうれしかったので、身体は疲れていても、その1年生たちといるとなぜか元気になりました。その時、先生というお仕事を頑張ることが自分にとって一番いいことだと思ったからです。」と答えました。真剣に聞いていました。



その後、これまで経験してきたスポーツについての質問もありました。（後略）

参観のお母さん方も自分のお仕事について、一生懸命に答えてくださっていました。ありがとうございました。子どもたちが興味をもったことに対して、インタビューする方法について学び、人の話を聞いて自分の考えを深めたり、新しい知識を得たりすることで自分の世界を広げていくことの大切さを学んでいました。

七夕飾りを作ろう！

家庭教育学級恒例の『七夕飾り作り』が子どもたち、保護者、そして卒業生も一緒に参加して1日に行われました。子どもたちや保護者の皆さんのお願いが込められた短冊が



【ここをこう切って】

ずらりと並びました。子どもたちは、大人になった時のいろいろな夢を書き記したり、勉強（テスト）やスポーツに関するよい結果を求めていました。そこで、



【その飾りいいねえ…】



【何を書いているの？】さんの心温まる願い』が多く見られました。【願い叶うといいなあ】

大変お疲れさまでした。

「願いを叶えるための努力の大切さ」について、子どもたちに話をしたところでした。

保護者の皆さんからは、『子を思う親御



【俳 句】

- 「プールの日 雨がどしゃ降り またできない」
- 「青空へ ぐんと伸びろ 小さな芽」
- 「雨の日は ザーザーふるよ 大変だ」
- 「雨ふりは いつになつたら 止まるのか」
- 「プールはね 冷たいけれど たのしいよ」



(み ゆ)
()
(らいか)
(あきひと)
(きみひさ)

【短 歌】

- 「太陽に 向かって伸びる 花たちは 終わりを知らない ひまわりたちかな」
(りゅうどう)
 - 「発芽して ぐんと背伸びだ 青空へ まぶしい光 輝く黄色」
(りゅうた)
 - 「坂本は 花いっぱいで 咲き誇る みんなの心 今から開花」
(みらく)
- ◎ あと残り2週間で1学期が終了します。

「子どもたちが体調面に気を付け、元気に登校し、しっかりと

1学期のまとめができますように…」

太陽輝く夏はもうすぐそこに来ています。



